

事業所名: 旭川児童院通園センター

回答数: 7

公表年月日: 令和3年 3月21日

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善目標、改善内容
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	2		
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	2	基準以上の配置をしている	
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	2		バリアフリーだが構造化されていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	3		児者一体で過ごすため、個別の活動に合わせた空間の確保が難しい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	1		振り返りに全スタッフが参加できていない。
	6	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	2		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	3		第三者による正式な外部評価は実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	2		放デイ向けの研修には参加できていない。今後、研修の機会があれば参加できるようにする。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	状態や学校での様子を聞き取りしたうえで計画を立てている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	3		利用児の特性上、標準化されたツールを使用することが難しい。検討が必要だと感じる。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	3		発達支援、家族支援が中心となっている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	3		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	3		
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	2		
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	1		
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2	0		業務上、支援開始前の打ち合わせが十分に行えないことがある。	

	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4	0		業務上、振り返り、情報共有が十分に行えないことがある。
	20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0		
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	通年利用児には行っている。	
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	2	0	4		児の障害特性、優先課題の観点から、地域活動が行えていない。
関係機関や保護者への説明	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0		今年度、1名のサービス担当者会議があり、児発管、担当者(Ns)が参加した。
	24	学校との情報共有・連絡調整を適切に行っているか	5	0	2	訪問教育と連携し、教材提供をしていただいている。	
	25	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や強力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	0	3		
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	0	0		今年度、該当者なし。必要に応じて行っていく。
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	0	4		今年度、該当者なし。必要に応じて行っていく。
	28	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	4		発達支援センターとの連携は行っていない。今後、利用児の特性に合わせて検討していく。
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	7	0		ニーズがあれば今後、検討していく。
	30	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	1	0	管理者が毎回参加している。	
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0		
	保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	1	契約時、必要時に説明している。
33		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	1		
34		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	3		事業所全体での家族会と相談の上、検討していく。
35		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0		
36		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	通年利用児には園便りを発行している。	
37		個人情報に十分注意しているか	7	0	0		
38		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0		

	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	7	0		感染対策上、行うことが難しい。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	0		保護者への周知が不十分という意見あり。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	2		定期的を実施しているが、利用日でない方は参加できていない。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0		
	43	やむを得ず身体拘束を行う場合について、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0		
	44	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7	0	0		
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0		
	46	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0		

【総合的に】

重症心身障害児の健康・安全を守ることを重視し、引き続き感染対策を行っています。そのため、障害のない子どもとのかかわりや地域活動の分野で低い評価になっています。

今年度、運営上の課題、継続的な発達支援の観点から、長期休暇の放課後等デイサービス受け入れを中止させていただきました。今後、受け入れ体制や支援について協議し、放課後等デイサービス事業の見直し、充実に向け努めていきます。